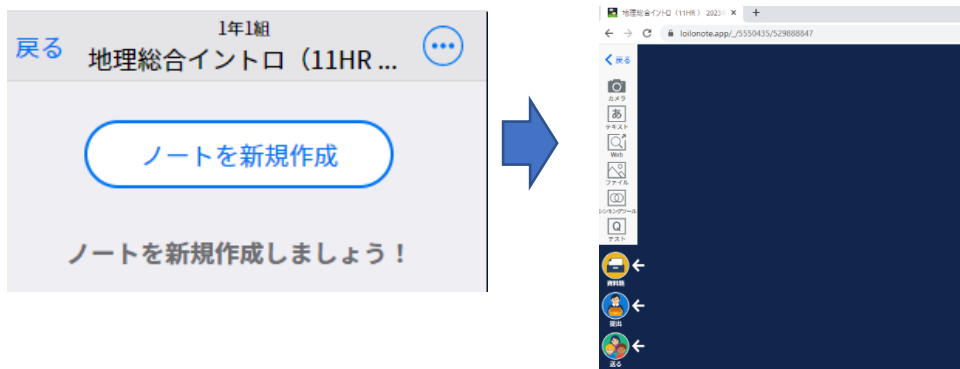


地図の「自主トレ」②

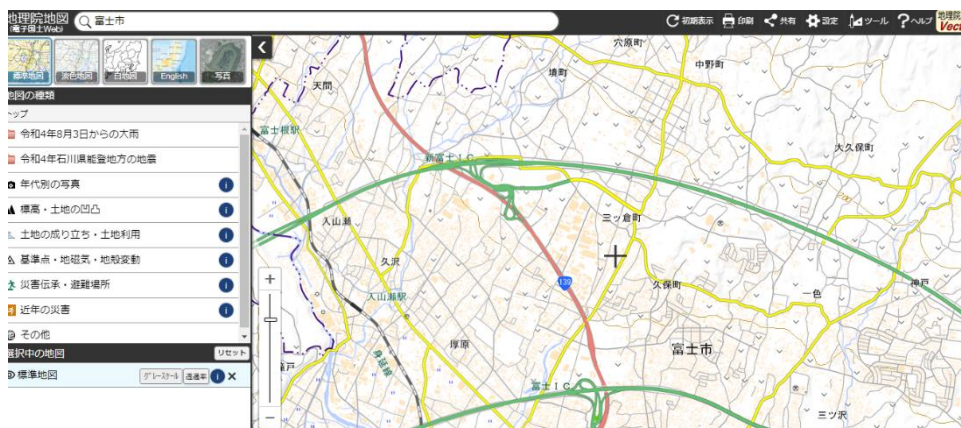
「地形図」を最後に見たのはいつですか？普段の生活で地形図を使っていますか？今日は、デジタル時代に進化した地形図、「地理院地図」を紹介します。前回と同じように、ロイロノートを使って地図画像を提出してみてください。

【ロイロノートの準備】

- (1) ロイロノートを開きます。(Web ブラウザで“ロイロノート”にログイン)
- (2) 「地理総合イントロ (各 HR)」を開く
- (3) 「ノートを新規作成」で今日の日付のノートを作る



【ロイロノート上で「地理院地図」のサイトを開く】



【地理院地図の使い方あれこれ】 いろいろな地図を開いて、

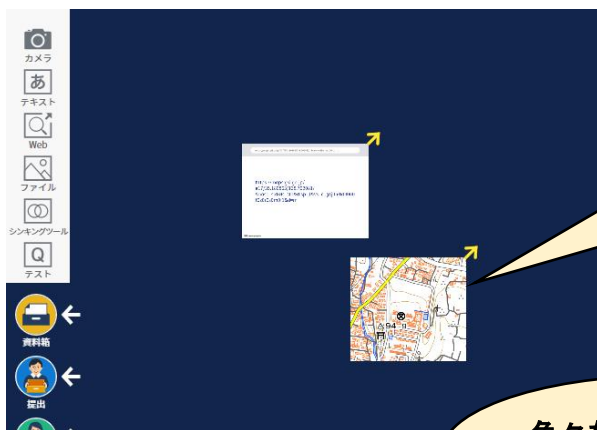
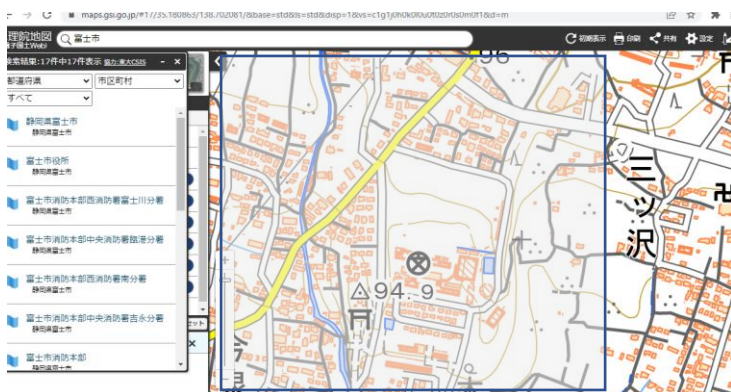
ロイロノートに貼り付けてつないでみましょう

<その1> 標準地図で富士東高校



地名で検索をかけられます

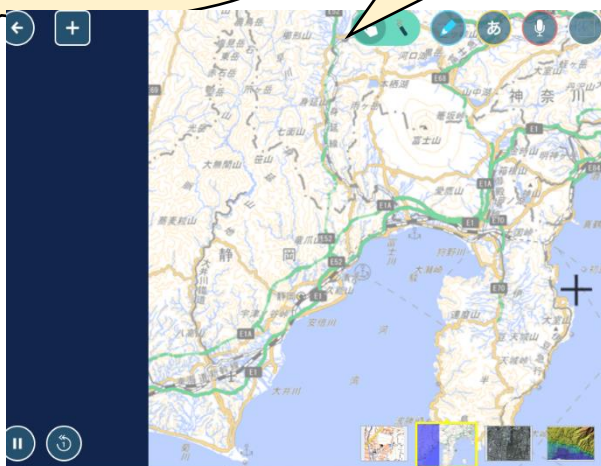
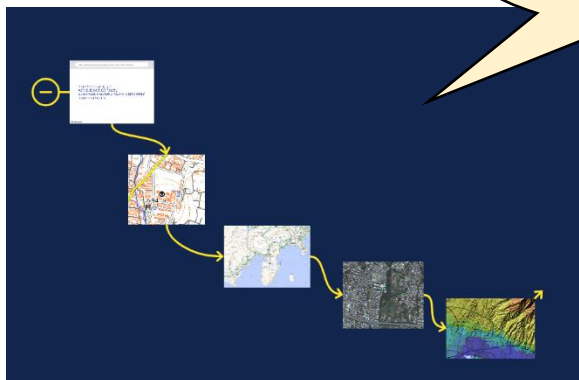
CTRL キー
スクリーンショットキー
で画面をコピー



CTRL キー
+
V キーで貼り付け

色々な地図を作って
つないでみましょう

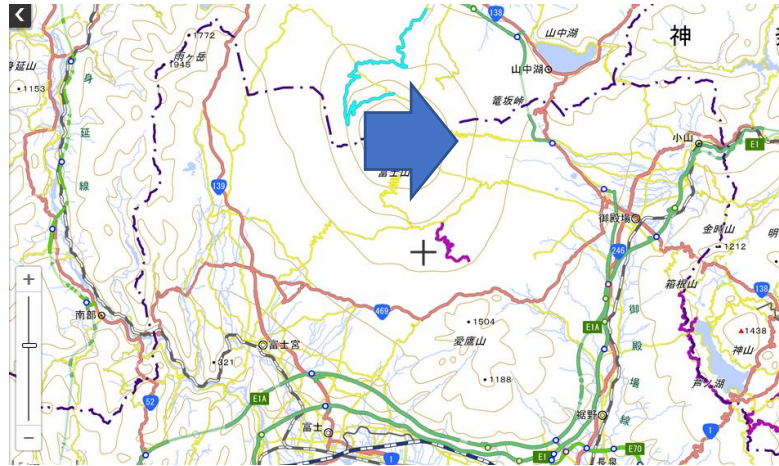
スライドショーを
して隣近所でプレゼン
してみてください



【地理院地図の応用】

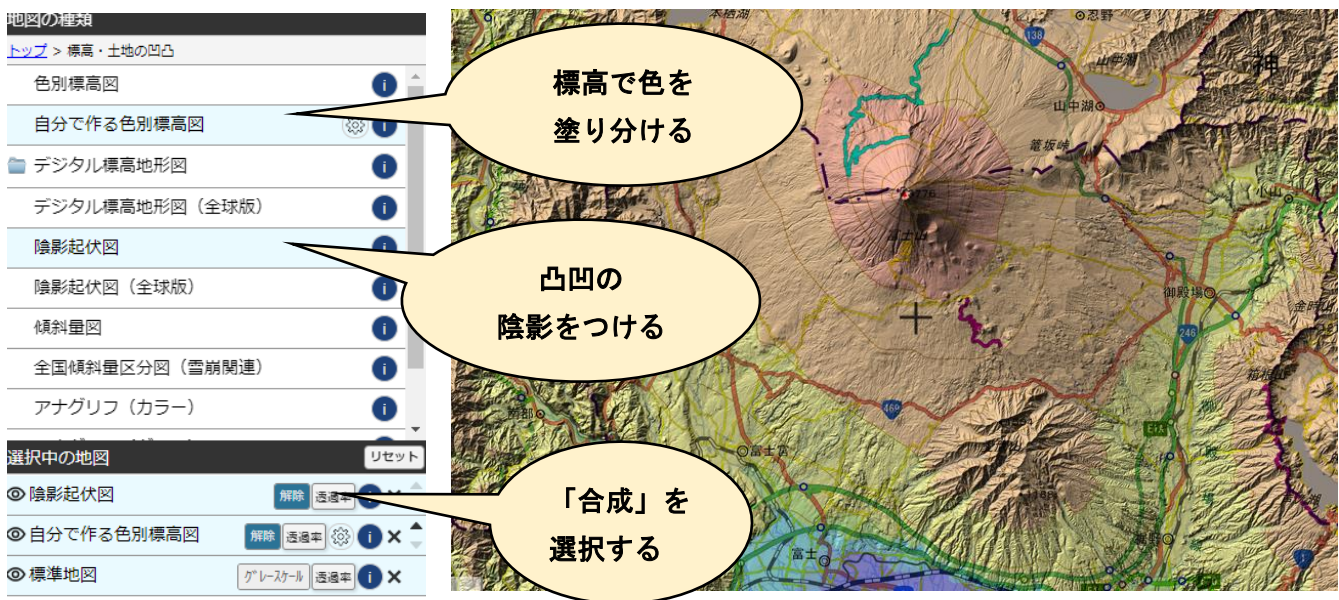
① 立体鳥観図・・・富士山の立体鳥観図を描いてみましょう。

(1) 富士山付近を表示します

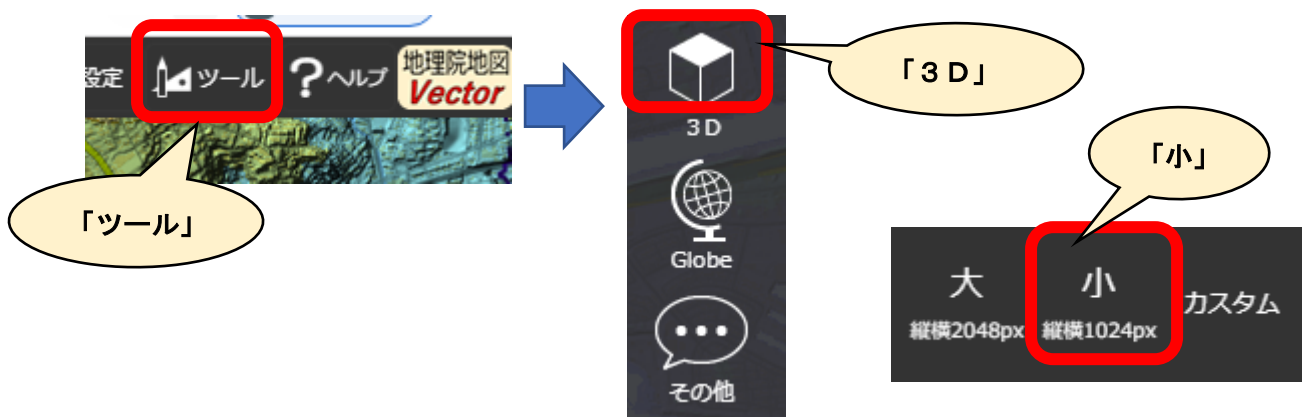


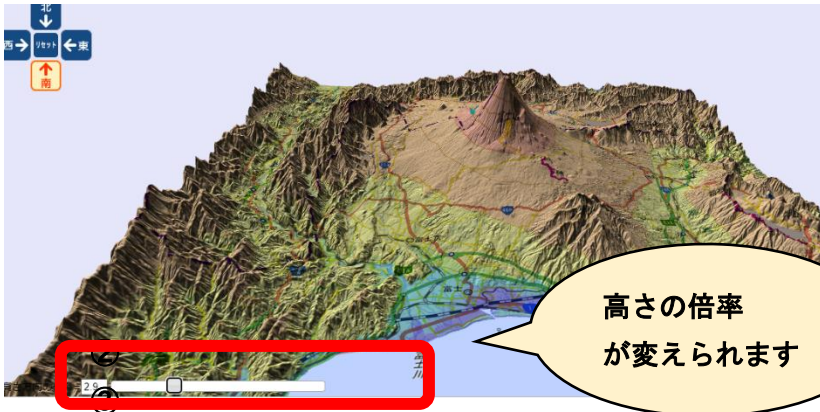
(2) 各種設定を行います

(色々いじりながら覚えてください)



(3) 立体モデルにしてみましょう





高さの倍率
が変えられます

④ ペンで地図に書き込んでみましょう

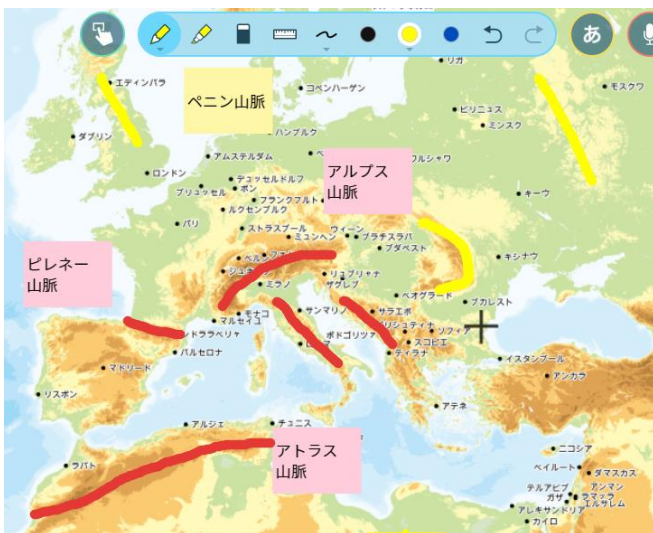
(1) 地図の画像をコピーしてロイロノートに貼ります。



貼り付けたら
ダブルクリック



ペンツールや
ラインで落書きしてみましょう



【まとめ】

電子辞書やスマホのアプリが英語の勉強を大きく変えたように、情報端末上で動く「デジタル地図」は、地理の勉強、ないしは「世界観」を大きく変えようとしています。

いままで「地形図の利用」といえば大きな地図（あるいは白黒のプリント）でひたすら等高線を読み取ることが主流でした。また「地図帳」も、一つの面に入れ墨（タトゥー）を刻むように書き込むのが良しとされてきました。

地理院地図やデジタル地形図画像を使えば、好きな時に好きな場所の地図を切り取れますし、ロイロノートに蓄えておけばいつ、何の目的で地図に書き込んだかがストックできます。

**デジタル地図帳×デジタルノート
をどう使いこなすかは皆さん次第です。**

ただ、「デジタル端末があるから紙の教材はいらない」というわけではありません。何度も手で書いて覚える場面もあるでしょうし、紙の地図帳を開いた方が早い時もあります。どう組み合わせたら学習効果が高まるか、1年間一緒に考えていきましょう！